

産業能率大学 情報マネジメント学部

英語 I A	履修年次	1	
	単位	2	
大塚 星太郎、長谷川 玲子、日吉 美晴、森本 暁帆	配当期	前・後	
	授業方法	演習※ / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本科目での主な学習活動は次のとおり:</p> <p>(1)「バンクーバー発音の鬼が教えるネイティブ発音の極意」: 本学が独自に開発したりチャード川口先生の映像教材で英語の正しい発音の仕方を学び、練習用アプリ(発音道場)で繰り返し復習を行う。</p> <p>(2) We Love LA!(以下LA)前半部分: アメリカの大学生の会話風景、Los Angelesの人々や文化の紹介を映像で見て、基本的な語句や会話表現、文法を学習し、技能(聞く、話す、読む、書く)を養成する活動を行う。授業は、知識の確認、成果の発表、ペアワーク、グループワークの場となる。効果的な活動のために個人の予習復習、練習は欠かせない。最終目標は、学習内容を使って、言いたいことを表現できるようになることである。</p> <p>(3) First Voyage(以下FV)前半部分: 授業では、文法項目を確認し、英語の短文作りなど授業外学習の成果を発表する。口頭で英文を組み立てるトレーニングは「話す」技能につながるので、繰り返し練習をすること。</p> <p>外国語の学習でもっとも大切なことは、学習する側の主体性、「英語を身につけよう」という姿勢である。さらに、一人ひとりの積極的な参画が全員の成果につながると考え、間違いを恐れず、恥ずかしがらずに英語で話したりパフォーマンスしたりすることを大いに期待する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・英語運用能力(聞く、話す、読む、書く)を養成する学習スキルの基本を身につけている。 ・その成果として、初級レベルの英語の文法、語彙、会話表現の基本を修得し、運用することができる。 ・発音練習を続けることで、ネイティブに近い発音ができるようになる。 ・英語学習を通して学んだ学習スキルを、英語以外の外国語学習にも応用できる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、小テスト、課題、および定期試験の結果により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・動画で発音練習① ・U1: WelcometoLA ・品詞と語順 ・Be 動詞と一般動詞 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑥ ・U4: Lunchtime(1) ・U5: FirstDate(2) ・助動詞
2	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習② ・U1: WelcometoLA ・否定文・疑問文 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑦ ・U5: FirstDate・助動詞
3	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習③ ・U2: I LoveFruit !・可算名詞/不可算名詞 ・否定文・疑問文 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑧・U6: Where' sLinda? ・進行形
4	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習④ ・U2: I LoveFruit !・第1文型と第2文型 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑨ ・U6: Where' sLinda? ・進行形
5	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑤ ・U3: CampusLif e・第3文型と第4文型 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑩ ・U7: Andy' sNews ・受動態
6	<ul style="list-style-type: none"> ・U3: CampusLife ・動詞の復習 	13	<ul style="list-style-type: none"> ・U7: Andy' sNews ・受動態
7	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・U4: Lunchtime ・代名詞 	14	<ul style="list-style-type: none"> ・復習・小テスト ・定期試験の準備